

吉谷 武志

YOSHITANI, Takeshi



【共同研究】

- 「多文化住民散在地域における学習・生活支援体制の構築に関する研究（研究プロジェクト）」（第3年度）を実施した。
- 三重県教育委員会高校教育室と連携し、JSLカリキュラムに基づく高校の授業改善に取り組んだ。
- 東京都立小平高校（英語科）、都立小山台高校定時制課程及び都立福生高校定時制課程との連携で「アンネ・フランク～時空を超えて～」の共同授業（英語と総合学習）にそれぞれ取り組んだ。

【科研費等の研究】

- 「ヨーロッパにおける教員の異文化間トレーニング－欧州審議会による取り組みから－」（基盤研究（C）平成24年～平成26年）の最終年度の研究を行い、成果をまとめた。

【研究業績】

1. 論文

- 吉谷武志、他（2015）「セクシュアル・マイノリティ（LGBT）と学校」『国際教育評論』第12号、東京学芸大学国際教育センター、48～70頁。
- 吉谷武志（伊藤亜希子との共著）（2015）「人権教育におけるアンネ・フランク巡回展の活用－日本における可能性と課題－」『国際教育評論』第12号、東京学芸大学国際教育センター、35～47頁。
- 吉谷武志（2015）「国際理解に関する学習－社会科における新しい課題－」『教師用指導書 小学社会 総論』日本文芸出版社、174～183頁。

2. 報告書

- 吉谷武志編（2012）「現代に生きるアンネ・フランク－異文化理解と偏見を学ぶ－」（総合的道德教育プログラム開発最終年度82頁（東京学芸大学）。
- 吉谷武志編（2012）『学校－地域連携による多文化児童生徒教育の推進に関する研究』プロジェクト報告書92頁（東京学芸大学国際教育センター）

3. 学会発表

- 吉谷武志（伊藤亜希子との共同発表）「人権教育におけるアンネ・フランク巡回展の活用－日本における可能性と課題－」（日本国際理解教育学会、第24回大会、奈良教育大学、2014年6月14日）
- T. YOSHITANI & A. ITO, “Learning about Discrimination through Anne Frank: Pilot Projects of Human Rights Education in Japanese High Schools” in International Association for Intercultural Education: Zagreb Conference, 18 September 2013.

4. その他

- 吉谷武志「戦後社会科の初志を引き継ぐ実践として」永田・池野編『地域からの社会科の探求』189～191頁、日本文芸出版（2014年11月）
- 吉谷武志「社会不安の時代の社会科の進む道－フランスにおける寛容の意味－」福岡地区社会科研究協議会『平成26年度研究紀要』1頁（2015年3月）。
- 吉谷武志「多文化の中の学校」『教職を拓く』113～115頁、名桜大学（2014年3月）
- 『外国人児童生徒受入の手引き』文部科学省、執筆協力（H23

年3月）。

【海外調査】

- 2014年4月 アンネ・フランク・財団（アムステルダム、異文化間教育に関する教員研修）及び欧州審議会（ストラスブール、教員研修プログラムPestalozzi Programme）を訪問し、異文化間教員研修についての研究協議を行った。
- 2014年9月 アンネ・フランク・センター（ベルリン）及び「レイシズムのない学校」プロジェクト事務局（ベルリン）を訪問し、他者理解に関する教材、青少年教育に関する研究協議を行った。

【講演会・研修会への参加】

- 福岡市教育委員会・日本語指導教員研修会において、「学校における外国人児童生徒担当者の役割」と題して講演を行った。（2014年5月8日）
- つくば市民大学（茨城県国際交流センターコモンズ主催）で「『特別の教育課程』による日本語指導と学校の受け入れ体制作り」と題して講演し、協議を行った。（2014年7月2日）
- 三重多文化共生議員の会総会（鈴鹿市）にて「義務教育後の日本語指導の現状と課題」と題して講演を行った。（2014年6月29日）
- 広島市教育委員会の管理職研修において「帰国・外国人児童生徒の受け入れ体制づくり－児童生徒理解に基づく受入と体制整備」と題して講演を行った。（2015年2月26日）
- 川崎市教育委員会主催、第2回川崎市外国につながる子どもの教育フォーラムにおいて「外国につながる子どもたちのために何が出来るか－多様な子どもの現状から、必要な力をどうやって支援するか－」と題して講演を行った。（2015年3月6日）

【社会的活動】

- 福岡県社会科研究協議会、福岡地区社会科研究協議会会長
- 『新版日文 小学校社会』（平成27年版 日本文教出版）共同著者
- （財）博報児童教育振興会「博報賞」審査委員

【学内の活動】

- 国際教育センター主催の「JSLを生かした外国人児童生徒教育指導者研修」で「外国人児童生徒等の現状と課題」と題して講演した（2014年5月10日）。
- 国際教育センターと京都市教育委員会との共催で、「サテライトセミナー・イン・京都」を企画し、あわせて「外国人児童生徒等の現状と教育課題」と題して講義した。（2014年7月31日）
- 国際教育センターと福岡市教育委員会との共催で、「サテライトセミナー・イン・九州（福岡）」を企画し、あわせて「外国人児童生徒等の現状とその教育的課題」と題して講演した。（2014年8月8日）

【主な学会活動】

- 異文化間教育学会
- 日本比較教育学会
- 日本国際理解教育学会
- International Association for Intercultural Education

【教育活動】

- 教育学研究科（教職大学院）で「現代教育ニーズへの対応1」を担当した。